

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	子育て世代人生の夢再構築プロジェクト
事業名(副) ※任意	ポストコロナめざしてピアセンターの設立

入力数 主 18 字 副 19 字

実行団体名	特定非営利活動法人とちぎみらいwithピア
資金分配団体名	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク・とちぎコミュニティー基金

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域		分野	
<input checked="" type="checkbox"/>	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		<input type="checkbox"/>	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/>	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/>	④働くことが困難な人への支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/>	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/>	⑥地域の働く場づくりの支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>	
------------------------	--------------------------	--

入力数 0 字

**SDGsとの関連**

ゴール
_3.すべての人に健康と福祉を
_5.ジェンダー平等を実現しよう
_16.平和と公正をすべての人に

実施時期	2021年6月 ~ 2022年2月	事業対象地域	<input type="checkbox"/> 全国 <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域 ( 栃木県 )	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	乳幼児期から思春期の子をもつ子育て世代（当事者及び祖父母）と保健師・助産師・保育士・児童福祉及び教育関係者等の支援者	事業対象者人数	総計260人 公開研修会100人、リフレッシュマクラス®60人、子育て世代ピアカフェ100人
------	-------------------	--------	---	---------------------------------------	--	---------	---

間接対象者：コロナ禍における子育てに関心のある者

**I.団体の社会的役割**

<b>(1)団体の目的</b>
この世に生まれた一人一人が生まれ持った性を大切にしながら、仲間と共に輝く未来を切り開いていけるように、思春期の若者および妊娠期からの切れ目のない子育て世代と彼らを支えるすべての人々に対して、ピア（仲間）同志の支えあい：ピアサポートによるエンパワメント向上に関する事業を行い、人生の夢を実現しながら生き生きと健やかに暮らせる未来、社会を目指す地域づくりに寄与することを目的としている。
<b>(2)団体の概要・事業内容等</b>
<b>子育て世代ピア支援事業</b> ①ママピアカウンセラー養成講座 ②リフレッシュマクラス®実践活動 ③子育て当事者、子育て世代支援者公開研修 ④子育て相談センター開設運営 ⑤ママピア通信・教材作成 <b>II. 思春期ピア事業</b> ①思春期ピアカウンセラー®養成講座 ②思春期ピア実践活動 ③思春期の若者、思春期ピア活動支援者公開研修会 ④思春期相談センター開設運営 ⑤びあっ子通信・思春期教材作成

入力数 (1) 191 字 (2) 194 字

**II.事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
100年に一度とされる新型コロナウイルス感染症パンデミックは、感染予防を主軸に抑圧された感情やつながり感消失の危機感が人々の心や行動を揺さぶり、本年1月23日の読売新聞「コロナ禍 自殺急増 昨年、速報値 小中学生最多」、同日の下野新聞「自殺者09年以来の増加、特に女性・子ども悪化顕著」等々掲載されるに至っている。 それらの誘因として学業や進学のことのみならず思春期妊娠や中絶・出産、親や恋人や配偶者からのDVの増加、経済問題や家族間の問題等々が挙げられ、政府も孤独・孤立対策室等を設置し、国民一体となった対策を検討している。本会は人に寄り添いつなぎエンパワメントを支え、中でもピア：仲間という意識をもって行うピアカウンセリング：仲間相談活動を基盤に活動している。昨年とある新聞広告ではコロナ禍で会えなかった友人同士が、久しぶりにZOOMで画面を通して会った。でも…それでも会いたい、話したい、遊びたい、笑いたい、ケンカしたい、助け合いたい…と呟っていた。他方東京のあるカウンセリングセンターのセンター長は「相談者の8割は対面を希望し、決死の覚悟で電車を乗り換えマスク姿でセンターまでやってくる。そして透明なアクリル板越しに、同じくマスクをつけた私に向かって直接こうして話したかったと訴える。コロナ禍の中で不安定な生活を強いられる今だからこそ、時間と労力を使っても目の前に同じ空間を共有して存在するというプレゼンス（現前性）が希求されていると提言している。 目の前に存在する人に寄り添い、抱える問題の解決の道筋を支援するというピアカウンセリングは、オンラインというツールを使いこなす事も含めて、人に寄り添いつなぎエンパワメントを支える活動の幅を広げこそすれ矛盾しない。本申請を契機に本会のSDGsとしてピアカウンセリング手法による“とちぎみらいピアセンター”の設置を目指したい。

入力数 795 字

III.事業内容

<b>(1)事業の概要</b>
<p>未曾有のコロナ禍の中で感染予防を軸に抑圧された感情やつながり感消失の危機感で育てにくさを抱えた子育て世代と支援者に焦点を当て、多様な子育て観と消失しかけていた人生の夢の再構築に寄り添いつなぎエンパワメントを支え、ポストコロナの新しい日常を生き生きと生きる力を育み、共感できる仲間と共に住み慣れた地域で集える居場所作りへの意欲を高める。</p> <p>子育て世代と彼らを支える保健師・助産師・保育士・児童福祉等々の支援者及びコロナ禍の子育てに関心のある者も含めて対象とし、1. オンデマンド方式による多様な子育て観公開研修会、2. リフレッシュママ（パパ含）クラス®、3. 子育て世代ピアカフェを実施する。</p>

入力数 294 字

<b>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</b>
<p>公開研修会及びリフレッシュママ（パパ含）クラス®を受講したことにより、多様な子育て観を獲得しエンパワメントされた子育て世代及び支援者が増加し、加えて子育て仲間同士が寄り添いつなぎ交流の場の集いとしての子育て世代ピアカフェが開催され、ポストコロナを見据え新しい日常を取り戻すために、住み慣れた地域で仲間と集う居場所づくり（とちぎみらいピアセンター）への興味関心と期待度が高まった状態。</p>

入力数 192 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
a. 公開研修会の受講者募集に、①全県域にマスメディア及び広報媒体で周知、②全市町村母子保健担当係へ周知を計画しているので、本事業の目的が全県に普及啓蒙される。特に公開研修会開催後、ポストコロナにおけるとちぎみらいピアセンター設置への興味関心と期待が高まる。	a. 公開研修会申し込み数、全市町村数44の1/3市町村からの申し込み数、ポストコロナにおけるとちぎみらいピアセンターへの興味関心と期待度	a. 公開研修会申し込み時及び実施後のメールアンケート調査	a. 公開研修会申し込み数100名、全市町村数44の1/3市町村からの申し込み数及びポストコロナにおけるとちぎみらいピアセンターへの興味関心と期待度60%	a. 公開研修会開催後 2021年10月~11月
b. 公開研修会のテーマとリフレッシュママクラス®の目的はリンクしており、各々受講することによりコロナ禍における抑圧された子育ての辛酸から解放され、多様な子育て観に変容し生き生きと楽しく自分育てを重ねて子育てする世代が増加する。	b. 公開研修会及びリフレッシュママクラス®受講後、コロナ禍における抑圧された子育ての辛酸から解放され、多様な子育て観で生き生きと楽しく子育てする意識の変容率。	b. 公開研修会の申込時と受講後のメールアンケート調査、また、リフレッシュママクラス®各回の自由記載メッセージカードの記述内容（質的変容）	b. コロナ禍における抑圧された子育ての辛酸から解放され、多様な子育て観で生き生きと楽しく自分育てを重ねて子育てする意識への質的变化向上と変容率60%。	b. 公開研修会 2021年10月 リフレッシュママクラス®最終同窓会開催後 2022年1月
c. リフレッシュママクラス®受講者のエンパワメント状態を測定する自己効力感と自尊感情尺度及びフェイススケール（QOL指標）が、クラス実施前測定結果より実施後に回復・向上し、その後受講仲間と共に活動する同窓会活動（1ヶ月～3ヶ月後）の中で継続維持される。	c. リフレッシュママクラス®受講後、多様な子育て観で自分や仲間の人生の夢の再構築を受容し、ポストコロナの自分や仲間の人生の夢を実現しようとする自己効力感や自尊感情・フェイススケール（QOL指標）の回復・向上度段階。	c. リフレッシュママクラス®のエンパワメント評価3指標（自己効力感・自尊感情・フェイススケール（QOL指標））をクラス実施直前・実施直後、同窓会（1ヶ月後、3ヶ月後）で測定し、平均値・標準偏差・有意差検定等の統計的手法にて分析し、結果を5段階に分け比較検討	c. エンパワメント評価3指標（自己効力感・自尊感情・フェイススケール（QOL指標））の平均値・標準偏差・有意差検定等の結果を5段階に分け各々1段階向上。	c. リフレッシュママクラス®最終同窓会開催後 2022年1月
d. リフレッシュママクラス®受講と子育て世代ピアカフェへの参加により、変容した多様な子育て観でポストコロナを見据え住み慣れた地域で仲間や支援者と共に地域づくり活動意欲が高まる。他方、彼らを支える支援者も事業の効果を認識と共に、ポストコロナの新しい日常を支えるとちぎみらいピアセンター設置への興味関心と期待が高まる。	d. リフレッシュママクラス®受講者数及び子育て世代ピアカフェへの参加者数と全市町村数44の1/3市町村からの申し込み数とポストコロナの新しい日常を支えるとちぎみらいピアセンター設置に対する意識の変容率。	d. リフレッシュママクラス®受講前後及び子育て世代ピアカフェへの申し込み時の地域数と参加前後のメールアンケート調査	d. リフレッシュママクラス®受講者数60名及び子育て世代ピアカフェへの参加者数100名と全市町村数44の1/3市町村からの申し込み数、ポストコロナのピアセンター設置に対する意識の変容率60%。	d. リフレッシュママクラス® 2022年1月 子育て世代ピアカフェ開催後 2022年2月

(4)活動	時期
①プロジェクトチームの設置及び事業経理事務担当臨時職員の雇用と実行計画とストラテジーの再検討及びスケジュールの調整・確定を行う。 同時に一般社団法人母子保健推進会議及び栃木県保健福祉部子ども政策課へ正式に後援を依頼する	時期：2021年6月～7月
②オンデマンド方式による子育て世代及び支援者に対する公開研修会（9月開催、2週間オープン）の企画・実施・評価 テーマ；研修会テーマ 仮題”多様な子育て観とポストコロナの新しい日常とは・・・” 講師：一般社団法人母子保健推進会議 常務理事 鎌溝和子、帝塚山学院大学 大学院教授 大堀章子 自治医科大学名誉教授 高村壽子 開催周知作業は、プロジェクトチームが編成され、ストラテジーの再検討が終了次第開始する。受講希望者は栃木県全市町村を通してと県内一般公募として募集をかけるので、マスコミへの周知及び栃木県保健福祉部子ども政策課へ県内各市町村の詩保健担当への周知を依頼する。 収録・編集及びプラットフォームの取得作業は7～8月に実施、応募受付は8月とする。開催後メールアンケート調査を実施する	時期：2021年7月～11月 公開研修会 10月2週間 アンケート調査実施・回収10月～11月
③リフレッシュママクラス®（1回 2時間半で2日間、12名参加）の企画・実施・評価 全県下の市町村に周知を図り、希望3市町村で実施する。受講後エンパワメントされたママ（パパ）が1ヶ月後の同窓会を契機に、仲間活動を開始する。 活動全般に希望支援者を招待する。 次年度への参加意欲を高める。	時期：2021年9月～2022年2月 実施希望調査 9月 クラス実施 2021年10月～2022年1月 同窓会実施 2021年11月～2022年2月
④子育て世代ピアカフェ（先輩ママ・パパ、後輩ママ・パパの集い）の企画・実施・評価 子育て世代を2群（a.乳児期の子育て群 b.思春期の子育て群）に分け、それぞれ寄り添いつなぎの集いピアカフェを実施する。参加することにより多様な子育て観を共感・共有しあう仲間と共に、住み慣れた地域でポストコロナの新しい日常を支える地域づくりの拠点設置へのニーズが高まる。開催後メールアンケート調査を実施する	時期：2021年12月～2022年2月 子育て世代ピアカフェ 2022年2月 アンケート調査実施・回収 2022年2月
⑤事業完了報告書の作成 ①のプロジェクト編成後の話し合いの中で、事業終了後速やかに報告書を提出できるように、先ず報告書の構成内容と目次案を検討しておく。すべての活動に写真と動画（肖像権の許可を得て）及びメールによる評価アンケートをセットとして準備・実施しておく、最終的な事業が終了次第、報告書を作成する。	時期：2021年7月～2022年2月 報告書の構成内容と目次案検討 2021年7月 活動全般の記録 2021年9月～2022年2月 報告書の編集・完成 2022年2月

IV.事業実施体制

<p>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</p>	<p>本プロジェクトは子育て世代と彼らを支える支援者を対象とするので、活動メンバーは理事長、副理事長、子育て部門から子育て部門3名、思春期部門2名、経理事務担当の臨時職員1名総計8名とする。各々の役割として理事長は活動全般にわたるスーパーバイザー、副理事長はプロジェクト事業担当、臨時職員はプロジェクトの経理事務専任とする。各事業実行レベルでは、公開研修会は主に理事長と事業担当の副理事長が担当、リフレッシュママクラス®は主に副理事長と子育て部門員、子育て世代ピアカフェは子育て部門長代行をリーダーとして両部門員が担当する。理事長は公開研修会の一演題を担当、また、リフレッシュママクラス®は講師を担当する。</p>
<p>(2)他団体との連携体制</p>	<p>一般社団法人母子保健推進会議及び日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会、栃木県保健福祉部子ども政策課の後援・連携・指導・助言)          一般社団法人母子保健推進会議；後援とコロナ禍の母子保健の全国的現状と課題と支援方法などの助言、公開研修会の講師及び講師紹介等          日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会；後援とコロナ禍における全国的現状と課題と解決及びポストコロナの新しい日常ヲ支えるピアカウンセリング手法の助言及びリフレッシュママクラス®のカリキュラム使用許可および感染予防下の実施方法などの助言、公開研修会の講師及び講師紹介等          栃木県保健福祉部；後援とコロナ禍の母子保健の栃木県の現状と課題と支援方法などの助言、各市町村母子保健担当部署への周知等          栃木県保健福祉部子ども政策課の全国や栃木県下の行政支援との連携及び公開研修会での講師紹介)</p>
<p>(3)想定されるリスクと管理体制</p>	<p>リフレッシュママクラス®や子育て世代ピアカフェのプログラム構成を熟慮し、受講予定数に配慮して会場の選択に留意する。また、グループで共感共有し仲間意識を高めるプログラムで編成されているので、講師及びファシリテーターと感染予防対策とどのように組み合わせて実施するか事前に協議する。グループで取り組み場合は参加人数を4人に制限、メンバーの間にアクリル板を設置、必要に応じてフェイスシールドをする等の感染予防対策をする。具体的には実施側；受講生の人数制限およびグループ編成の人数制限・ソーシャルディスタンスの確保・3密を避ける・十分な換気・アクリル板の設置・フェイスシールド使用・実施前と実施中の使用物品の消毒・受付時の体温測定・実施前と実施中参加者の手指消毒に留意する。受講生の主体的な感染予防マナー；発熱などの体調不備の場合の不参加の意思決定と連絡・マスクの常用・筆記用具及びマイボトルの持参・受付時の体温測定・参加者中の手指消毒を心がける。また、リフレッシュママクラス®及び子育て世代ピアカフェ開催時の予測不能の事故などの対応するために、レクレーション傷害保険に加入し実施体制を整備する。</p>

V.関連する主な実績

<p>(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無</p>				
<p>コロナウイルス感染症に係る事業</p>				
<p>①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)</p>	<p>有 <input type="checkbox"/></p>	<p>無 <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>有の場合 その詳細</p>	
<p>②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない</p>	<p>無 <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）</p>		
<p>(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績</p>				
<p>なし</p>				